

Yahoo! JAPAN とマネーフォワードが業務提携 日本最大級の金融情報の総合サイト「Yahoo!ファイナンス」公式アプリ上で、「資産管理」機能の提供を開始

Yahoo!ファイナンス公式アプリプロモーションページ

http://info.finance.yahoo.co.jp/pr/finance_app

株式会社マネーフォワード（本社：東京都港区、代表取締役社長CEO 辻庸介、以下「マネーフォワード」）とヤフー株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：宮坂 学、以下「Yahoo! JAPAN」）は業務提携し、本日、スマートフォンアプリ「Yahoo!ファイナンス」上で「資産管理」機能の提供を開始しました。本機能は、まずiPhone用アプリに搭載し、将来的には他のデバイスへの展開も視野に入れています。

本機能は、銀行預金、株式、投資信託、FXなど複数金融機関の保有資産情報を一元管理できるサービスです。はじめに金融機関の口座情報を登録するだけで、保有資産の情報が毎日自動的にアップデートされますので、ユーザーは面倒な更新作業をすることなく、最新の保有資産状況をスマートフォン上で気軽に確認できます。さらに「Yahoo!ファイナンス」公式アプリの豊富なコンテンツを通じて、保有資産に関連するニュースや指数情報をまとめてチェックすることができます。

< 「Yahoo!ファイナンス」公式アプリ 「資産管理」機能の特長 >

1. 資産全体の状況が一目でわかる『資産総額』

複数の金融機関の口座情報を一元管理し、資産全体の資産総額、前日比、評価損益、目標金額、達成率、時系列推移など金額とグラフで一覧できます。

2. 株式、投資信託、FXなどの取引を自動で記録

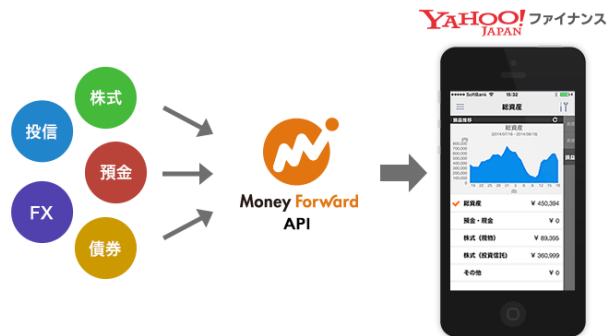
株式、投資信託、FXなどの取引を自動で記録することができ、銘柄別（FXは通貨ペア別）に、評価額、評価損益、損益推移、前日比等の詳細情報を確認できます。さらに国内株式はリアルタイム株価ページと連携しているので売買のチャンスを見逃しません。

3. 目標金額の設定で資産運用のモチベーションアップ

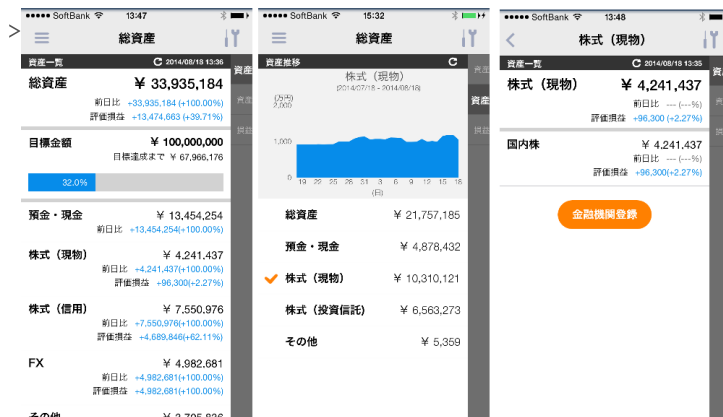
資産運用の目標金額を設定することができます。目標金額までの残りの金額表示や目標達成率を表示することで資産運用のモチベーションを高めることが可能になります。

◆「Yahoo!ファイナンス」公式アプリ「資産管理」機能のサービスイメージ

複数口座の保有資産情報を全てYahoo!ファイナンス公式アプリ上で管理。
豊富な銘柄情報とあわせて、手軽に確認できます。



◆Yahoo!ファイナンス公式アプリ「資産管理」機能の画面イメージ



<「Yahoo!ファイナンス」について>

来訪者数、ページビューともに日本最大級の金融情報の総合サイトです。「投資」に関心のある方々をメインターゲットとし、株式、投資信託、為替（FX）など金融商品情報を幅広く提供しています。（月間平均ページビュー数は約10億、月間平均ユニークブラウザータ数は846万人（PCのみ）※2014年6月時点）URL：<http://finance.yahoo.co.jp/>

<マネーフォワードについて>

「マネーフォワード」は、クレジットカードはもちろん、銀行、電子マネー、証券会社など合計1,500以上の金融機関と連携しており、お客様は「マネーフォワード」上で複数の金融機関の入出金や残高状況を一括管理することができます。利用者数150万名超の日本最大級の家計・資産管理サービスです。

URL：<https://moneyforward.com/>

■株式会社マネーフォワードについて

マネーフォワードは、多くの人が抱えるお金の課題を解決できるサービスを提供しています。2012年5月の設立以来、家計・資産管理サービスやクラウド型会計ソフト、お金に関するウェブメディアを展開しています。

《提供サービス一覧》

・家計管理・資産管理サービス（Web, iPhone, Android, iPad で提供）

『マネーフォワード』 <https://moneyforward.com/>

- ・クラウド型会計ソフト

『MFクラウド確定申告』 https://biz.moneyforward.com/tax_return

『MFクラウド会計』 <https://biz.moneyforward.com/>

- ・クラウド型請求書一括管理サービス

『MFクラウド請求書』 <https://invoice.moneyforward.com>

- ・お金に関する正しい知識やお得な情報を発信するウェブメディア

『マネトク！』 <http://manetoku.com/>

《主な受賞歴》

2014年1月ケネディ米大使より「将来を担う起業家」として米国大使館賞受賞。

同年2月ジャパンベンチャーアワード2014にて「起業を目指す者の模範」としてJVA審査委員長賞受賞。

同年3月電通国際情報サービス主催の金融イノベーションカンファレンスFIBC2014にて優勝し、大賞を受賞。